

令和元年度 第1回 大衡村総合教育会議 議事録

日時：令和元年12月24日（木）
午後1時から午後3時20分
場所：大衡村役場 2階 会議室

○出席者：大衡村長 萩原達雄，教育長 庄子明宏
教育長職務代行者 渡邊勇，教育委員 鎌田澄子，教育委員 齋藤さと子
教育次長 齋藤 浩 学校教育課長 八巻利栄子，課長補佐 亀谷明美
社会教育課長 大沼善昭
総務課長 早坂勝伸，係長 小原昭子（書記）

1. 開会（進行：総務課長 早坂勝伸）

開会時刻：午後1時

2. 挨拶（大衡村長 萩原達雄）

[省略]

3. 協議…大衡村総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により村長が議長となり進行する。

（1）令和元年度全国学力・学習状況調査結果について

<萩原村長>早速，協議に入ります。協議の（1）令和元年度全国学力・学習状況調査結果について，八巻課長より説明をお願いします。

<八巻課長>（資料1に基づいて，説明）

<萩原村長>ただいま，全国学力・学習状況調査の結果について，八巻課長から説明がありました。この件について，皆さんからご意見を伺いたいと思いますが，小学校と中学校では非常に違うなど思った。自分の良いところに対する見方の意識が正反対。

<庄子教育長>教育委員会でも話し合いをしているが，スマートフォン，ゲーム等で家庭に帰ってからの時間をかなり多く使っている。家庭学習の時間が短い，授業

内容を復習しない。納得できるところだと思う。またスマートフォンの使用によって昼夜逆転する子供がいて遅刻するだとか、来れないという児童もいる。

<萩原村長>ICT教育そういったものに、ここ10年ぐらいでそんな話出てきた。スマホ、パソコンできることがすばらしい事だと、親がそう思っているのではないか。それだけでは。皆さんどうですか。

<庄子教育長>扱い方だと思う。中学生のアンケートを見ると多くはスマートフォンでゲーム・ビデオ・動画にかなり多く時間をとっている。ICTとして使うというよりは各家庭にテレビがあって1台のテレビを話しながら見るのと違って自分の部屋に入ったらネット、個人的に好きな番組を見るというのも考えられる。あとはラインを含めたSNSに時間を費やしている。

<萩原村長>それは誰が適性なレベルにしていくのか？親ではないのか。

<渡邊職務代行>教育委員会でおおひらっ子7か条というのがある。意味がわかるのは10人いたら1人ぐらいでないか。親に聞いても10人いたら3人ぐらいか。いいこと書いてある。学校PTA総会でPRするとか必要では。調査を見ると小学校6年生と中学校3年でまったく違う。中学生3年生になれば将来のことを考えると思う。6年生はまだまだ。

<萩原村長>学年によっては荒れる学年、その次の学年は荒れない学年というのがある。

<渡邊職務代行>我々の時代は、あの頃はリーダーがいて悪いことはするが学校の授業に対して邪魔するということにはなかった。今は学級崩壊に近いようなことも考えられる。やっぱり家庭と親と学校の先生達それぞれに原因があると思うが。読書をする子も少ない。夏休みに自分の感想文の宿題というのは今でもあるのか。

<八巻課長>ある。中学校は読書感想文と弁論は必ず。

<鎌田委員>読書をしない理由を考えたときに興味を持つ本が身近にないというのも考えられる。興味のある本がそこにないから読書をしない。あるいは授業の中で必ず読ませるような方法に持っていく。そういうことをしていないから、なかなか読書のきっかけがつかめない。本の数が少ないというのも考えられ

る。例えば読書感想文を書くために本を読むのか、こうしたものに興味があるから本を読むのか。環境を整えてあげるというのも大事ではないかと思う。中学校の運動会で感じたことは、一人ひとりが役目を持って、忙しい中責任感をもって活躍していた。終わった後達成感が得られ結果に結びついていました。6年生の数字が上がることを期待したい。責任を持たせられると伸びてくるので、個々のよいところを引出すことが必要なのではないかと調査結果を見て思っています。

<萩原村長>読みたい本がないからというのは図書館にないから？

<鎌田委員>図書館だったり、身近なところに置く。読みたい本がどんなものなのか聞いて、常に読みたい本を入れてあげるとか。

<萩原村長>欲しい図書のアンケート希望取ってるの？

<大沼課長>ある程度取ってます。

<萩原村長>そういったものに基づいて購入してるんですか？

<大沼課長>はい。

<萩原村長>小学校だとすると1年生から6年生まであるから一口に言えないが。この間トークフォークダンスした学年ですか？

<渡邊職務代行>あれは5年生。

<渡邊職務代行>読書するよりスマホのほうが早い。だからその辺を変えていかないと。

<萩原村長>そうだね。

<渡邊職務代行>立派な本を入れてあげても子供は読まないと思う。

<萩原村長>だから私が一番最初に言ったことに当てはまってくるのではと思う。私は常にそう思っている。私が勝手に思ってるのだが、親が小さいうちからパソコンできるのはすごいことだと思ってるのではないか。その辺考えなければならぬのではないか。それから英語しゃべれる人というのはすごいと思う

だろうが、それと同じでパソコンができるのは、親はすごいことだと思っ
ているのではないか。日本人なのに英語勉強しなくてはならないのはどうして
か。社会がそうになっている。

<渡邊職務代行>昇降口に本を置くとかして、そこに来て借りていく。そういう方法もあ
るのではないか。意識付けしないと。

<庄子教育長>本を読む習慣づけをしなければならないし、きっかけがないと進まない。
スマホする時間はあっても読書の時間はない。読書の時間が指示として図書
室に行って時間があって読み始めると今度は読書がやめられなくなる。読書
して漢字勉強するとか。国語を勉強しないと問題文も解けない。理解できな
い。読書というのは大切だと思う。

<渡邊職務代行>読んでるだけでは言っている意味がわからない、前にも後にも進まない
と思うし。何とかして本を読ませていく方法を。

<萩原村長>学力テストについてはこういう結果であると、これまでの傾向調べながら分
析しながら、いろいろあるんだろうと思うがいいところもある。この調査は
毎年やっているのか。

<八巻課長>毎年やっています。

(2) 児童・生徒の状況について

<萩原村長>。それでは次に(2)児童・生徒の状況についてをお願いします。

<八巻課長>(資料2に基づいて、説明)

<萩原村長>不登校というのはこんなにいるんだ。

<八巻課長>宮城県と比較してはそう多くはない。

<萩原村長>そういう観点から言えば驚くほどの数ではない。小学校で4人、中学校では
相当も入れると6人。

<渡邊職務代行>昔は学校へ行きたくなるものだったが。不登校の子供達にスクールソー
シャルワーカーが対応してるんだけど、学校の同級生が迎えに行くとい

うのはあるのか？今はないのかな。先生に相談して生徒から迎えに行くというのもありきかなと思うんだけど。そうすると子どもは意外と心を開く。教育受ける権利をもらっているのだから、親は学校にやる義務はあると思う。

<八巻課長>小学生については1人休みが多くなって来れなかった子供がいたけれども12月からまた来たいと言ってる。スマホに夢中になって昼夜逆転でなかなか学校に足が向かないというお子さんもいますし、特に小学生などは全てではないが家庭環境がだいぶ影響しているという部分がある。10人いれば10人状況、環境なり異なっているので、なかなか一概にどうというのは難しいが。その子に合わせた支援なりしていかなければいけない。親も含めて大事な時代。

<渡邊職務代行>中学校の合唱コンクール涙が出る。ひとつのことを一緒にやるスタイルがいい。子供だけでなく親も来て見てもらえばいい。

<渡邊職務代行>学芸会は参加することに意義がある。昔は主役がいたが、今は全員参加なのでなかなか難しいらしい。

<萩原村長>ここ何年かずっと全員参加ですよ。

<鎌田委員>小学生は元気がいいことも含めて小学生。マイクを使ったんでは、元気なことを発揮しなくなる。だからこれも指導の一環でないかなと。声を出す訓練をして学芸会に臨むというのも必要なんでないかなと私は思う。今年は高学年はいろんなことがあってあそこまで持っていったことにすごい努力があったんでないかなと感じた。保護者の方々も苦労したことを聞いたもので、マイクを使った学年もありましたけども、それでも声が通らなかったという部分もあったと思いますが。もうちょっと元気良くてもいいかなと。

<萩原村長>セリフ何話しているかわからなかった。

<齋藤委員>うちの子供が小学校に入ったときの5年生の演技にとっても感動しました。5年生がこんなにできるんだと。子ども達の意識の中で、人に伝えたいという心が残念ながら今の5,6年生の中に心が育ってきていないのが学芸会に出たのかなと思いました。人前で演技すること自体が大変な学年だったのかなと。子どもの演技中の見る側の様子もざわつきが多くて。親世代も変わって

きているのかと。

<萩原村長>学年かなと。こども園の発表会は良かった。

<渡邊職務代行>小さい子は教えられたこと素直に出す。

<萩原村長>涙が出るくらい感動した。何年か前にもあった。今年はどこが山なのかという感じだった。教育をしなければいけないのは今の子供の親だという人もいる。そうだと思う。

<渡邊職務代行>世の中が変わってきている。教育現場は対応しきれない。それに追いつくように努力しなければいけないということ。
私らの時代、携帯電話持つなんて考えられなかった。今の親は持ってないのがおかしい。統計取ると。

<庄子教育長>スマホを持ったのが小学生 60 人、中学生 48 人。

<八巻課長>今の中学生に取ったアンケートでいつ持ち始めたかと聞いたところ、小学生のうちに持ち始めたという生徒が 60 何人。全校 150 人中位で。1 年生のうちからというのが 48 人。

<渡邊職務代行>持たない子もいるようだ。

<庄子教育長>携帯電話かスマホ、家のパソコンでネットワークが使える手段ほぼ 90%。
両方持っている子もいる。

<齋藤委員>仲の良い子同士で持っていないのはうちの子だけで、生きにくい世の中だなと思った。

<庄子教育長>パソコンは使ってだめではなく使い方をちゃんと教える。

<渡邊職務代行>読書はやらせないでだめ。

<庄子教育長>ICT 教育は端末の部分で個人に行った時に先のことを考えていない。ゲームとか、遊びだとか。それに対応しきれないでパソコン等にはまっている。

<萩原村長>私達個人の力だけではどうにもできない。

<庄子教育長>毎年同じ結果が出てる。毎年スマホが増えて行っている。そのことによって家庭学習しない。教育現場でも伸びない部分がいっぱいある。そういうの直すためには、これから先は地域の連携が必要。村の人達全員が認識しないことには変わらない。今度国では児童生徒全員に端末を1人1台と明言している。

(3) 心のケアハウス事業について

<萩原村長>いろいろ問題はありますが、次に(3)心のケアハウス事業についてをお願いします。

<齋藤次長>(資料3に基づいて、説明)

<萩原村長>予定としては来年度から。議会に提案、全員協議会で説明するとしている。

<庄子教育長>県の補助が最初は平成32年度まで。それが平成35年度になった。

<萩原村長>まだつくってないのどこ?保護者と本人がケアハウスに来るの。

<齋藤次長>七ヶ宿, 村田, 色麻, 大和, 大郷, 大衡。

<庄子教育長>連れてくるのではない。来なければ子供達のところに行ってあげることもできる。

<齋藤次長>申込を親御さんのほうからもらって、けやき教室で対応できるのであればそちらに。そっちに行けないので勉強教える。コミュニケーションが図れないお子さんもいらっしゃるそういうところの指導も含めてコミュニケーション力をあげるだとか。自立支援をケアをしていく。引きこもりも対象ではあるが、そこまでいなくてもコミュニケーション取れるようになってくると、個々に応じた対応をしていくということになる。

<渡邊職務代行>今まで不登校のケアするところはない。今まで学校でやってきた。心のケアハウスを作れば学校の指導力も増すと思うし。専門的なケア, 支援していただくのであれば私はいいいのでないかと思う。

(4) 生涯学習関係事業について

<萩原村長> それでは、続いて4. 生涯学習関係事業について

<大沼課長> (資料4に基づいて、説明)

<萩原村長> これについてご意見ありましたら。今年は小学生合宿は8月4日から8月6日まで2泊3日で、子供会リーダー研修会、小学生合宿と8月4日だぶっている。だぶっているということは8月4日に参加した子供が小学生合宿に参加したのか。小学5年生は入ってこなかったのか。

<大沼課長> はい。小学生合宿の20何名と。地区育成会から1,2名出してもらって、あわせて35,6名で。その日だけ行った。合宿とあわせてリーダー研修会ということで夕飯にカレーライスを作った。

<萩原村長> 来年は別にやりたいと。

<大沼課長> はい。

<萩原村長> 村単独で。それからスポーツレク大会はティーボールに復活するという。今年雨降る降らないに係わらずボッチャ。来年度は雨降ったらボッチャ。パラリンピック競技だそうなので。

<大沼課長> はい。

<萩原村長> 村民運動会は今までどおりやるということで。あとゴルフ大会。これについては。

<大沼課長> やるのであれば教室から。やったことのない方にゴルフの楽しさを知ってもらうような初心者を対象とした大会ならわかるが、大会となると社会体育ではないのではないのかなと。上手い方々の大会。

<萩原村長> それはそうできればいい。最初はそうだが固定化してくる。村スポーツ協会でやるとなったらどうするのか。

<大沼課長> スポーツ協会でもゴルフをしなればいけないというのがなくなってしまった。

<萩原村長> どうですか皆さん。それでよろしいですか。

<渡邊職務代行> 初心者対象で「親子でパークゴルフ」これやったらあまり参加者いないと思う。大抵パークゴルフは年寄りがやっているから。これまでどおり地区対抗。下手な人は下手なりに楽しんでいる。親子でやっている人もいるが、人集めて教室やるとなったらなかなか集まらないのではないかと、公民館で苦勞すると思う。もう少し検討してもらったほうがいいのではないかと思う。やってだめだということではない。

<大沼課長> 地区対抗でも子供も混ぜてもいいのではないかと思う。

<渡邊職務代行> 分館長が老人会に丸投げしている。30代、40代は見ない。やっぱり60～80代。

<庄子教育長> パークゴルフ大会は面白いと思う。やっていないのは小さい子供。仮に集まらなくてもやってみたらいいのではないかなと思う。14地区のうちときわ台が不参加だった。

<渡邊職務代行> おそらくときわ台は、老人会がまだないから。分館長が困ったんだと思う。

<萩原村長> 今までどおり地区対抗は残す。新しいところは親子。地区対抗にしないほうがいい。

<鎌田委員> 人集めは苦勞されているようで、どこにお願いするかというと老人会にお願いするというのが現状なので、そこから一歩進んで若い世代の親子は一旦試みるべきと思う。

<萩原村長> これは村の施設でもあり、施設の存続にも係わることだと思う。利用者減っている。他の町にいろいろできているし、いずれ大衡7万人切る。

<渡邊職務代行> 大衡のパークゴルフ場非常にいいと聞いている。

<萩原村長> 村の愛好者人口の拡大を図るのであれば何か。

<大沼課長> 今までの継続して、教室も。

<萩原村長>いろいろご意見いただきました。本日はありがとうございました。

<早坂課長>それでは、以上もちまして第1回大衡村総合教育会議を終了とさせていただきます。お疲れ様でした。

4. 閉会

閉会時刻：午後3時20分

本議事録は事務局書記が記載したものであるが、その内容に相違ないことを証明するためここに署名する。

令和元年12月24日

大衡村総合教育会議出席者

大衡村長

萩原達雄

教育長

庄子明宏

教育長職務代行者

渡邊勇

教育委員

鎌田澄子

教育委員

齋藤さと子